

佐野美術館創立50周年・三島市制75周年記念

## 日本近代洋画の巨匠

和田 Wada  
Eisaku 英作展

こころの情を描く

## 開催要項

- 展覧会名: 佐野美術館創立50周年・三島市制75周年記念  
日本近代洋画の巨匠 和田英作展 こころの情を描く
- 会 期: 2016年6月11日[土]～8月7日[日]
- 会 場: 佐野美術館
- 開館時間: 午前10時～午後5時(入館の受付は午後4時30分まで)
- 休 館 日: 木曜日
- 入 館 料: 一般・大学生1,000円 小・中・高校生500円  
\*毎週土曜日は小中学生無料 \*8月1日[月]は入館料無料(創立者・佐野隆一翁生誕日)
- 主 催: 佐野美術館、三島市、三島市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送
- 後 援: 静岡県教育委員会
- 助 成: 三島信用金庫
- 協 賛: 伊豆箱根鉄道株式会社
- 特別協力: 公益財団法人 日動美術財団

## 展覧会の趣旨

佐野美術館は、2016年6月11日[土]から8月7日[日]までの期間、明治・大正・昭和を生き、近代の日本美術史に大きな足跡を残した洋画家・和田英作(1874-1959)の展覧会を開催します。

夏の海と青春の輝きが眩しい『赤い燐寸』、東京美術大学の卒業制作で代表作のひとつ『渡頭の夕暮れ』など、卓越した写実力が、モデルの心の機微をも描きだします。

本展は、油彩画の名作の数々に加え、富士や田園風景の写生、制作過程のわかる下絵など約80点を展覧し、10代の初期作から最晩年までの70年に及ぶ画業を紹介いたします。

## 展覧会のみどころ

展覧会は、「洋画家として歩み始める」「白馬会・文展で活躍」「洋画界の指導者へ」「東京を離れ、愛知・知立、そして静岡・清水へ」と、時代を追った4章構成です。

和田英作は、富士に魅了されて静岡県清水市(現静岡市清水区)に移住したことで知られます。特に後半生において富士と薔薇を繰り返し描き、「富士薔薇太郎」の愛称で呼ばれたそうです。日々刻々と変化する富士と真摯に向き合い、絶筆も富士の絵となりました。本展にて、油彩とスケッチを合わせ約15点の富士、また、3点の油彩の薔薇をご覧ください。

## 主なイベント

- ◆講演会「和田英作 作品鑑賞の手引き」  
7月30日[土] 14:00～16:00
- ◆担当学芸員のギャラリートーク  
6月18日[土]、7月16日[土]、8月6日[土] 14:00～

## 広報用画像

本展の紹介記事等を掲載される場合には、1～5の画像と、展覧会チラシ掲載の画像をデータで提供できます。電話、FAXまたはメールでお知らせください。



1.



2.



3.



4.



5.

1. 《赤い燐寸》大正3年(1914) 鹿児島市立美術館蔵
2. 《渡頭の夕暮》明治30年(1897) 東京藝術大学蔵
3. 《三保富士》昭和28年(1953) 小杉放菴記念日光美術館蔵
4. 《薔薇》大正15/昭和元年(1926)頃 ポーラ美術館蔵
5. 《野遊》大正14年(1925) 東京藝術大学蔵

## お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 Tel. 055-975-7278 Fax. 055-973-1790

URL <http://www.sanobi.or.jp> E-mail [koho@sanobi.or.jp](mailto:koho@sanobi.or.jp)